

東京の労働力

平成19年7～9月期平均結果 -

「労働力調査」(総務省所管)の東京都分について、平成19年7～9月期平均の集計結果を公表します。結果の概要は、次のとおりです。

東京都の完全失業率 3.4%

・平成9年の公表開始以来最低

主な特徴 (表1、統計表第2表、統計表参考)

(労働力人口)

労働力人口は719万6千人で、前年同期に比べ29万3千人(4.2%)増加した。

- ・男性は19万3千人(4.7%)、女性は10万人(3.5%)それぞれ増加した。

(就業者数)

就業者数は695万1千人で前年同期に比べ31万8千人(4.8%)増加した。

- ・男性は19万8千人(5.1%)、女性は12万1千人(4.4%)それぞれ増加した。
- ・男性、女性共に3期連続の増加となった。

(完全失業者数)

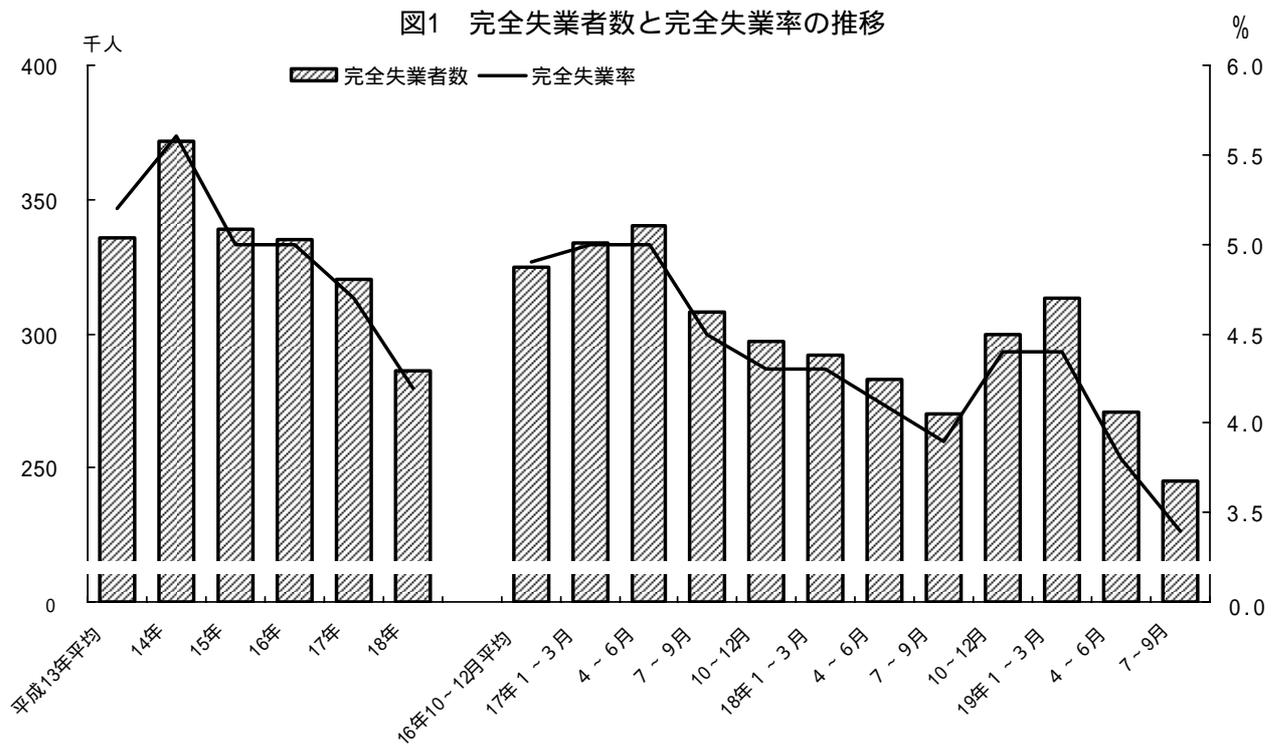
完全失業者数は24万5千人で前年同期に比べ2万5千人(9.3%)減少した。

- ・男性は5千人(3.1%)、女性は2万1千人(19.3%)それぞれ減少した。

(完全失業率)

完全失業率は3.4%で、前年同期に比べ0.5ポイント低下となった。

- ・平成9年の公表開始以来最低となり、全国水準を0.3ポイント下回った。
- ・男性は3.7%、女性は3.0%となった。前年同期に比べ男性は0.3ポイント、女性は0.8ポイントそれぞれ低下した。



1 労働力人口

労働力人口は719万6千人となり、前年同期に比べ29万3千人(4.2%)増加した。

男女別にみると、男性は425万7千人、女性は293万9千人となり、前年同期に比べ男性は19万3千人(4.7%)、女性は10万人(3.5%)それぞれ増加した。

(表1、統計表第2表<P8、P9>)

表1 就業状態別、男女別15歳以上人口

(単位:千人、ポイント、%)

就業状態等	男女計	男	女	対前年同期					
				増減数			比		
				男女計	男	女	男女計	男	女
15歳以上人口	11 295	5 603	5 692	256	147	109	2.3	2.7	2.0
労働力人口	7 196	4 257	2 939	293	193	100	4.2	4.7	3.5
就業者数	6 951	4 100	2 851	318	198	121	4.8	5.1	4.4
完全失業者数	245	157	88	- 25	- 5	- 21	-9.3	-3.1	-19.3
非労働力人口	4 087	1 339	2 747	- 38	- 48	10	-0.9	-3.5	0.4
完全失業率	3.4	3.7	3.0	-0.5	-0.3	-0.8			

* 15歳以上人口には、分類不能・不詳を含むため内訳の合計とは必ずしも一致しない。

2 就業者

(1) 就業者の推移

就業者数は695万1千人となり、前年同期に比べ31万8千人(4.8%)増加した。

男女別にみると、男性は410万人、女性は285万1千人となり、前年同期に比べ男性は19万8千人(5.1%)、女性は12万1千人(4.4%)それぞれ増加した。

男性、女性共に3期連続の増加となった。

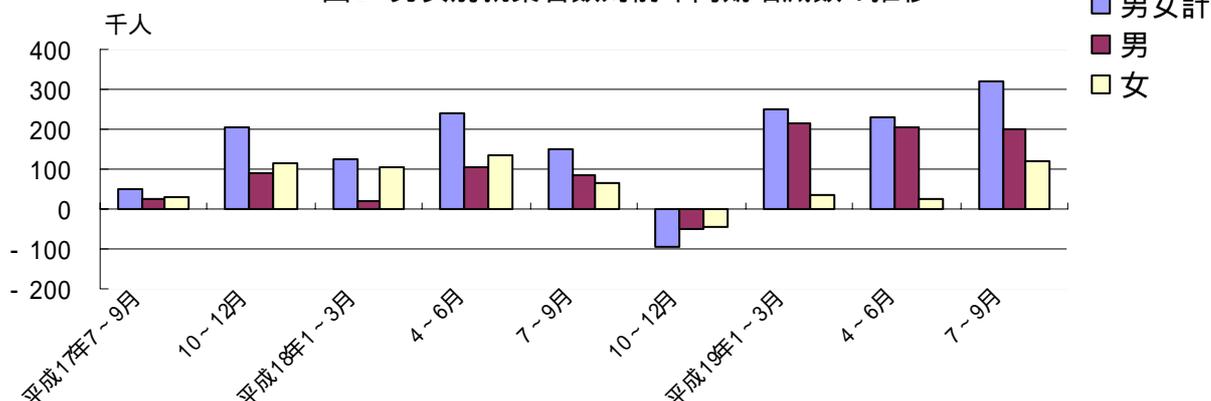
(表1、表2、図2、統計表第2表<P8、P9>)

表2 男女別就業者数の推移

(単位:千人)

就業者数		17年		18年				19年		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
実数	男女計	6 483	6 560	6 473	6 660	6 633	6 463	6 723	6 889	6 951
	男	3 819	3 886	3 839	3 938	3 902	3 836	4 054	4 144	4 100
	女	2 663	2 674	2 634	2 722	2 730	2 627	2 669	2 745	2 851
対前年同期増減数	男女計	52	204	125	241	150	- 97	250	229	318
	男	23	91	18	106	83	- 50	215	206	198
	女	29	113	107	135	67	- 47	35	23	121

図2 男女別就業者数対前年同期増減数の推移



(2) 雇用者数の推移

雇用者数は618万5千人となり、前年同期に比べ34万人(5.8%)増加した。

男女別にみると、男性は364万人、女性は254万5千人となり、前年同期に比べ、男性は22万4千人(6.6%)、女性は11万6千人(4.8%)それぞれ増加した。

(表3、統計表第3表<P10、P11>)

表3 男女別雇用者数の推移

(単位:千人)

雇用者数		17年		18年				19年		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
実数	男女計	5 643	5 752	5 722	5 931	5 845	5 627	5 973	6 090	6 185
	男	3 299	3 379	3 363	3 488	3 416	3 305	3 580	3 646	3 640
	女	2 344	2 373	2 360	2 444	2 429	2 322	2 393	2 445	2 545
対前年同期増減数	男女計	- 23	223	202	256	202	- 125	251	159	340
	男	- 18	82	45	117	117	- 74	217	158	224
	女	- 5	141	158	140	85	- 51	33	1	116

(3) 非農林業雇用者数

非農林業雇用者数全体では617万4千人となり、前年同期に比べ33万9千人(5.8%)増加した。従業者規模別で見ると「1~29人」は、前年同期に比べ12万8千人(6.7%)、「30~499人」は8万8千人(4.7%)、「500人以上」は7万1千人(4.4%)、いずれも増加した。

(表4、統計表第6表<P14>)

表4 従業者規模別非農林業雇用者数

(単位:千人、%)

規 模	非農林業雇用者数			対 前 年 同 期					
	男女計	男	女	増減数			比		
				男女計	男	女	男女計	男	女
*総 数	6 174	3 632	2 542	339	226	113	5.8	6.6	4.7
1~29人	2 051	1 187	865	128	81	47	6.7	7.3	5.7
30~499人	1 974	1 125	849	88	44	45	4.7	4.1	5.6
500人以上	1 680	1 065	615	71	84	-13	4.4	8.6	-2.1

* 総数には、官公・従業者規模不詳を含む。

(4) 主な産業別就業者数及び雇用者数

就業者数をみると「製造業」「運輸業」「不動産業」「医療、福祉」は前年同期に比べ減少したが、その他の産業は増加した。雇用者数は、前年同期に比べ「運輸業」「不動産業」「医療、福祉」は減少したが、その他の産業は増加した。

(表5、統計表第4・5表<P12、P13>)

表5 主な産業別就業者数及び雇用者数

(単位:千人、%)

産 業	就 業 者 数			雇 用 者 数		
	実 数	対前年同 期増減数	対前年同 期比	実 数	対前年同 期増減数	対前年同 期比
建 設 業	471	17	3.7	405	28	7.4
製 造 業	819	-8	-1.0	751	1	0.1
情 報 通 信 業	538	22	4.3	512	18	3.6
運 輸 業	312	-38	-10.9	282	-34	-10.8
卸 売・小 売 業	1 311	160	13.9	1 224	175	16.7
金 融・保 険 業	269	37	15.9	267	39	17.1
不 動 産 業	180	-4	-2.2	147	-10	-6.4
飲食店,宿泊業	500	41	8.9	388	24	6.6
医 療, 福 祉	528	-21	-3.8	490	-30	-5.8
教育,学習支援業	311	17	5.8	279	10	3.7
サービス業(他に分類 されないもの)	1 359	81	6.3	1 133	88	8.4

3 完全失業者

(1) 完全失業者数の推移

完全失業者数は24万5千人で、前年同期に比べ2万5千人(9.3%)減少した。

男女別にみると、男性は前年同期に比べ5千人(3.1%)女性は2万1千人(19.3%)それぞれ減少した。

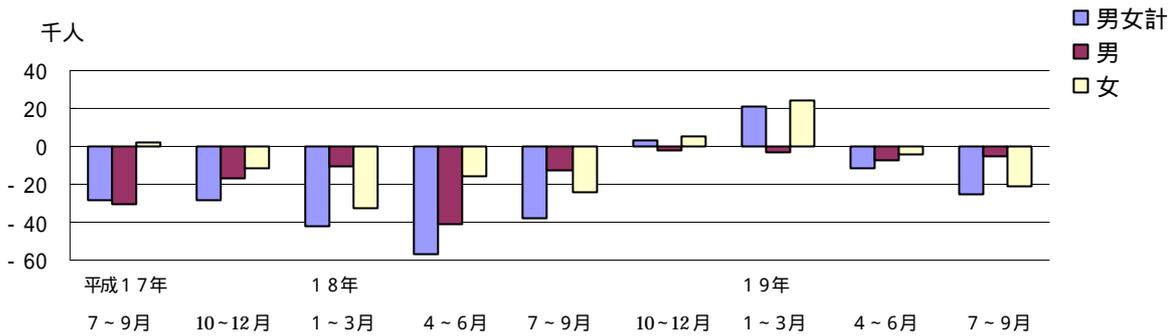
(表1、表6、統計表第2表 P8、P9、図1、図3)

表6 男女別完全失業者数の推移

(単位:千人)

完全失業者数		17年		18年				19年		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
実 数	男女計	308	297	292	283	270	300	313	271	245
	男	175	183	197	160	162	181	194	153	157
	女	133	114	95	123	109	119	119	119	88
対前年 同 期 増減数	男女計	-28	-28	-42	-57	-38	3	21	-12	-25
	男	-30	-17	-10	-41	-13	-2	-3	-7	-5
	女	2	-12	-33	-16	-24	5	24	-4	-21

図3 男女別完全失業者対前年同期増減数の推移



(2) 完全失業率

完全失業率は3.4%となり、前年同期に比べ0.5ポイント低下した。
 平成9年の公表開始以来最低となった。
 男女別にみると、男性は3.7%、女性は3.0%となり、前年同期に比べ男性は0.3ポイント、女性は0.8ポイントそれぞれ低下した。(表7、図1、統計表第2表<P8>)

表7 年齢階級別、男女別完全失業率 (単位: %、ポイント)

区分	総数	15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上
実数							
男女計	3.4	6.6	4.2	3.3	2.3	2.7	2.2
男	3.7	4.5	4.8	3.7	2.8	3.2	2.8
女	3.0	8.8	3.3	2.7	1.5	1.9	1.3
対前年同期増減率							
男女計	-0.5	0.1	-1.2	0.0	-0.4	-0.3	-0.8
男	-0.3	-2.5	-0.4	0.3	0.5	-0.7	-0.7
女	-0.8	2.7	-2.4	-0.2	-1.9	0.2	-0.8

(3) 完全失業率の全国、南関東との比較

東京都の完全失業率は平成9年の公表開始以来最低となり、全国水準を0.3ポイント下回った。
 全国の完全失業率は3.7%となり、前年同期に比べ0.4ポイント、南関東(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)は3.4%となり、前年同期に比べ0.4ポイントそれぞれ低下した。(統計表参考<P15>、図4)

